



狛江市議会議員

山本あき子

建設・環境常任委員会所属

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワーク 議会レポート

No. 5

2017年1月31日発行

連絡先：狛江市議会 狛江・生活者ネットワーク
〒201-0003 狛江市和泉本町 1-1-5 (市役所3階)
電話 03-3430-1171
狛江・生活者ネットワーク事務所
電話 03-3430-1302、FAX03-5761-0678
e-mail:komanet.seikatusva@niftv.com



狛江市議会議員

吉野よしこ

総務・文教常任委員会所属

<http://yoshino.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワークは二人で会派を組んでいます。
まちの課題など市政へのご意見をお寄せください。

狛江市議会第4回定例会の報告をします。
会期は2016年11/24～12/19でした。

市議会議員 山本あき子の

ドキドキ日記

人権週間での新たな取り組み

昨年12月4日～10日までの人権週間には市役所2階ロビーにカラフルなパネルが展示されました。初めて性の多様性についても展示されました。



「マイノリティとは“比較的少ない”というだけの意味。それをハッピーなことにみんなでしていきたい」「いろいろあるけどやっぱり愛ってすばらしい」。

たとえばいつもこんなことを考えています…僕は今セーラー服を着て女子として学校に通っている。カミングアウトしている友だちもほんの数人しかいない。あと10年経ったら僕が僕として楽しく笑いながら生きていたらいいな…

…男が愛せる男で良かった！女の子と好きなタイプの話で盛り上がるから。男が愛せる男で残念！ぜんっぜんタイプじゃない野郎まで「俺に気があるのか」と勘違いされることがあるから(笑)男なら誰でもいい訳ではアリマセン…。

狛江がまた一步LGBTフレンドリーなまちに近づき、応援する人を意味するアライも増えたと感じられるパネル展示でした。

セクシャリティによる偏見や差別がなくなるよう今年も頑張ります！！



要支援者を対象に、住民主体で運営する通所型サービスBの予定団体に対し、補助金を活用した育成が始まります。4月のスタートへ向け利用者と事業者双方にとって質を保った事業移行が望まれます。

◆新しく始まる市独自の介護予防・日常生活支援総合事業

ボール遊びの出来る公園が少なく要望も多いことから整備は評価できますが、東京都の土地であるため使用できる期間は不明です。騒音への苦情対応や近隣住民の理解をどう得ていくかなど課題はありますが、市民のニーズに応えのびのび遊べる環境は保障されるべきです。

◆東京都水道局用地の一部を運動広場として整備していくことを決定

◆電源構成等の情報開示の義務化を求める意見書を政府へ提出することを求める陳情を採択

電力の全面自由化に伴い、消費者の選択の自由を實質的に確保するために①小売電気事業者に対し電源構成開示を義務化すること②電源構成事業者に対しホームページ・パンフレットのみにとどまらず、料金明細への記載など、消費者の目にとまる分かりやすい形での「表示」を義務化することの実現を求める内容です。



近藤はるなさんと狛江のゆるきゃらと成人式のお祝い

2年前に出された狛江市特別職報酬等審議会の答申では狛江市の財政状況に鑑み、「市民の目に留まりにくい年間の総支給額を、民間との較差や他市等との均衡を踏まえながら決定していく必要がある」とし、加えて「突出して多い狛江市議会議員の期末手当は、この

審議が行われました。市議会では2015年4月1日より2年の時限を定めて、議員の期末手当を5か月分から4か月分に減額してきました。3月末で失効しました。議員報酬と定数に関しては全議員が中野章明治大名誉教授の講義を受け、議会運営委員会でも議論しましたが合意に至りませんでした。今議会では4月以降の議員報酬と定数について3つの条例案が出され、議会の役割を含め白熱した審議が行われました。

議員報酬をめぐる

審議会の審議事項でないこととは承知しているが、市長等や市職員同様東京都人事委員会勧告に準じた月数となることを望ましい。また管理・監督する職でない市議会議員には役職手当の加算措置は馴染まない」と判断しています。狛江・生活者ネットワークは報酬審議会答申を最大限尊重するという観点から期末手当を市職員と同じく4か月、役職加算20%を廃止する条例案を共同提案しましたが、賛成少数で否決されました。規則上いづれかの条例案の賛成が過半数に達しないと以前の報酬に戻ってしまうこととなります。これこそ到底市民理解は得られないと判断し、現状の報酬と議員定数維持の条例案は退席この条例案が賛成多数で可決されました。(現在正副議長、常任委員長には加算あり。2015年4月改定以前は議員1か月465,000円、現行419,000円)



山本あき子の
一般質問

児

童虐待：SOSに
気づく地域社会を！

1 昨年1年間で

世田谷児童相談所が受けた
狛江の被虐待相談は39件
(心理的虐待17件 身体的虐待
13件 ネグレクト6件 性的虐待3件)でした。子どもの年齢は3歳児未満
7件 学齢前15件 小学生
17件です。声なきSOSに気づくには、**地域での見守り、周知啓発により子育てを一人だけで背負わなくてもよい事を共有して**いく必要があります。



吉野よしのの
一般質問

市

民活動支援センター
を気ある拠点に！

昨年4月に開設した市民活動支援センターは
いまだ市民の認知度が低く、
場所や役割の周知が喫緊の
課題です。「何をするとどこ
か」建物の外観からもわか
るようにすべきです。市民
が立ち寄りやすく利用しやす
くするために、『だれでも
トイレ』表示の設置やホッ
とひと息付けるよう給湯室
の備品の準備、子連れで参
加できるイベントの開催な
どを提案しました。

【児童相談所はどうなる？】

法改正によって東京23
区に児童相談所を設置でき
るようになり、狛江が切り
離されることも考えられる
中、**子どもが安心して身を
寄せられるショートステイ
機能の充実を要望**しました。

●LGBTからSOGIへ

【SOGI 学校での取組】
SOGIとは性指向・性
自認を表す言葉で、誰にも
ある性の構成要素と多様性
を理解していこうとする新
しい概念です。

学校では正しい情報発信
と相談体制の充実は勿論、
カミングアウトについても
本人の意思が最も尊重され

●生活に身近な環境問題を 市民に周知啓発を！

汲み上げた地下水は上水
道の他、冷房、水洗、洗車、
公衆浴場などにも利用され
ています。市の「地下水は
おいしくて安全な水」との
評価に基づき上水道への割
合を増やす方策を取るべき
と提案しましたが、上水へ
の利用割合が87%なので工
場・指定作業所等への制限
は公平性を欠くとの理由で
難しいとの答弁でした。市
として地下水活用の方針を
検討するよう要望しました。
また、街路樹の害虫発生
や駆除に関し、都の「化学

るべきで、他者からのアウ テイニングが起きない体制づ くりを要望しました。希望 があれば、国や都からの通 知文を参考に、制服・髪型・ 更衣室・トイレなどについ ても対応していくとのこと です。内的欲求に基づいた自 己実現を支えるのが教育の 役割であり、多面的な自己理 解と他者理解を深めながら お互いを尊重しあうために、 SOGIは貴重な視点であ るとの答弁が教育長からあ りました。(SOGIは性指 向 Sexual Orientation と性 自認 Gender Identity の頭 文字を合わせた呼称)

●スクールソーシャルワ ーカー(SSW)の役割を生か そう！

物質子どもガイドライン」
を踏まえた害虫管理方針を
持つべきと指摘し、概要版
ちらし作成を提案しました。
SSWはいじめ、不登校、
暴力行為などに対応するた
めに配置されています。社
会福祉などの専門的知識や
技術によって子どもに寄り
添い問題解決できるよう、
学校や家庭への訪問、聞き
取り、地域での情報収集な
ど必要な活動を主体的に行
うことができるよう環境整
備と支援を求めました。

掲示板
みんなの居場所を開きま〜す！
3月29日(水)10時~16時
西河原公民館2階 調理実習室他
マンガ、ご飯づくり、雑巾縫い、
宿題してもいいし、フレーザーでも遊べるよ！ ●参加は無料
食事代：子ども100円、大人300円
申込：TEL3430-1302(松崎)
主催：生活クラブ狛江地域協議会



都立農業高校にて



初春まつりに参加



新宿駅西口での街宣

やわらかいあたまを持つと 現場主義で多様な視点を 持った講座のスヌメ

狛江市では福祉相談課が
イトコサガシ代表の冠地
情(かんちじょう)さんと
ともに、第2回目となる家
庭力セミナーという連続講
座(全6回 2016年12月~2017
年2月)を、あいとびあセン
ターにて参加費無料で実施
しています。

冠地情さんは自分自身を
「不登校・ひきこもり・い
じめ・発達障害の4冠王だ
った」と語っていて、『全国
各地でいいところを探し、
互いに応援するワークショップ
&講演会』を43都道府
県で千回以上開催し、これ
までに1万人以上が参加し
たイトコサガシの発案者
で主催者です。

第1回目では特別支援教
育の視点、既存の学校に馴
染めない子ども達のオルタ
ナティブ・
スクールの
現場、都立
高校とイン
クルーシブ
教育、カサ
ンドラ症候
群、学習支
援と親支援、
(株)シエア
するココロ

若者・引きこもり支援の設
立者による就労支援の限界、
発達障害の親の立場といっ
た現場主義で多様な視点を
持った講座が展開されまし
た。

私は地域力・市民力の
切さを常に訴えてきました。
この画期的な企画は参加
者の年齢や職業などもさま
ざまであることも嬉しいの
ですが、講師らが参加し合
う珍しい場面も見られます。

これこそまさに当事者を
含む市民、専門家、行政が
ともに学び、課題に向き合
い解決しようとするセミナ
ーです。

講師は専門性をひけらか
したり抱え込んだりせず、
家庭・学校などで役立つこ
とが優先されるといふ趣旨
を明確に共有していること
が、意識の高さ内容の濃
さに繋がっているのだと思
います。
(吉野よしの)

子供と共に成長していきましょう！
家庭力
セミナー
精神科医 森川すいめい
冠地情
第6回 2017年 2/12(日)13:30~16:30
オープンダイアログの
視点から家庭力を考える
会場：西河原公民館2階調理実習室
申込：TEL3430-1302(松崎)
主催：狛江市・イトコサガシ